

日刊建設産業新聞

ガイドワイヤー式ゴンドラをアピール

マンションビジネス総合展

日線産業



展示中のガイドワイヤー式ゴンドラ

日線産業と日線ゴンドラは9月24日、25日に東京・江東区の東京ビックサイトで開催した「マンションビジネス総合展」に、ガイドワイヤー式ゴンドラとスカイリフトminiを初出展した。同社ブースへの来場者は2日間

で約500人。

同展示会は、マンション業界の関係者が一堂に会する、日本初の商談展示会で、新たな時代のマンションのあり方を議論し、情報・人的交流の場を創出することで、業界の発展に寄与することを目的としている。

「ガイドワイヤー式ゴンドラ」は、ゴンドラの揺れを抑える新システムとして従来のガイドレールシステムと比べ、36%のコスト削減が実現した。主な特徴は①取付日数の短縮②設置解体工事費の低減③アンカー打設数と補修箇所削減④アンカー金具は最大10tピッチで固定可能など。風にも強いぶれない工法で、最大約150t・40階建てまで対応で、大規模修繕工事だけでなくプラント・橋梁・土木分野においても幅広く活用可能なシステムだ。2019年4月以来、全国20か所で採用実績がある。

「スカイリフトmini

i」は本体自走式の荷揚げリフトでアルミ製のプラットフォームとマストで軽量、コンパクトで手運び・組立が簡単にできる。主な特徴は①プラットフォームは足場内に積載物を取り込む際に90度回転機能で足場上の荷取りがスムーズで安全②積載荷重

オーバー(200kg以上)になるとリミッターが感知し警報が鳴り、リフトが作動しなくなる積載荷重オーバー防止装置③安全法による積載250kg未満、荷台1平方メートル未満なので運転資格・免許設置届けが不要など。2018年に開発され、こ

れまで建築・土木の約100現場で採用実績がある。同展示会の模様は同日開催した「住宅ビジネスフェア」非住宅建築フェアと併せ10月8日、9日にオンラインで開催される。

建通新聞

東京

発行所 建通新聞社

東京支社
東京都港区新橋4-9-1
新橋プラザビル16階
〒105-0004 電話(03)5425-2070
多摩支局 電話(042)527-7291
<https://www.kentsu.co.jp/>
新聞定価6ヵ月 40,200円(税込)

©建通新聞社 2020

発行紙
神奈川／静岡／中部／大阪／岡山
香川／徳島／愛媛／高知

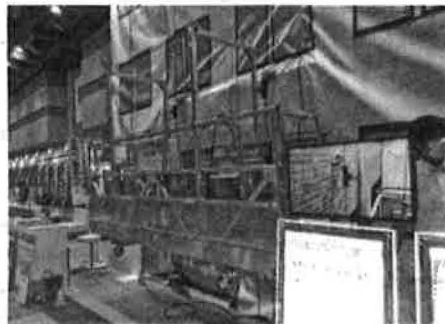
日綜ゴンドラ

レンタルを強化 ガイドワイヤーシステム

日綜ゴンドラ(中央区)は、マンション大規模修繕工事で採用実績があるガイド式ゴンドラ「ガイドワイヤーシステム」

写真のレンタルを強化する。

同製品は、取り付け日数を短縮し、設置・解体の費用やアンカー打設数などを低減。従来のレール式に比べ36%のコスト削減につながるという。2019年4月のレンタ



ル開始以降、マンション大規模修繕をはじめ、プラントや橋梁など20カ所の現場で採用されている。25日まで都内で開催された「マンションビジネス総合展2020」に日綜産業(同)と共同で出展。自走式簡易荷揚げリフト「スカイリフトmini」も展示し、二つの仮設機材をセットにした導入のメリットを来場者に説明した。問い合わせ先は日綜産業 電話03(6891)3246。

建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町3-13-7

電話(03)3259-8711

FAX(03)3259-8730

©日刊建設通信新聞社 2020

新型のゴンドラ公開

日綜産業、マンション

ビジネス総合展に出展

日綜産業と日綜ゴンドラは、ゴンドラの揺れを抑える



新型ガイド式ゴンドラ「ガイドワイヤーシステム」をマンションビジネス総合展で公開した写真。従来のガイドレールシステムに比べ、安全性を保ちつつ、経済性・作業性の向上により、36%のコストを削減可能とした。

主な特徴は、取付日数の短縮、アンカー打設数と補修箇所削減効果であり、搬入時

・作業時のコストを圧縮できる。同システムは2019年4月以来、全国20カ所での採用実績があり、リニューアル工事のみならず、プラント、橋梁、土木分野でも幅広く活用できる製品となっている。

また展示ブースでは、積載能力が2000キ、高さ39・5メートルまで可能な自走式荷揚げリフト「スカイリフトmini」も紹介している。アルミ製で軽量、コンパクトであるため、簡単に設置できる。積載オーバーになると警報が鳴るなど安全面にも優れている。この製品は、安全衛生法の定める積載250キ未満、荷台1平方メートル未満のため、運転資格、設置の届け出は不要。現在、100を超える建築・土木の現場で採用実績がある。

日刊

産業新聞

Japan Metal Bulletin

2020年(令和2年)

9月25日(金)

第20043号
Since 1936

マンションビジネス総合展

日綜産業が初出展

ガイドゴンドラなど紹介

軽仮設大手の日綜産業(本社=東京都中央区、小野大社長)とグループ企業の日綜ゴンドラ(同、比留間純社長)は、24日に東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催したマンションビジネス総合展に初出展し、新型ガイド式ゴンドラ「ガイドワイヤーシステム」と自走式簡易荷揚げリフト足場「スカイリフトmini」を紹介した。

いずれもマンションの大規模修繕工事を念頭に開発した新機材で、きょう25日まで展示している。

日綜産業のガイドワイヤーシステムは、2019年4月のリリース開始以来、全国20カ所で採用実績がある。従来ゴンドラの揺れを抑えるシステムはガイドレールで、施工現場の各階にアンカーを固定する必要があった。ガイドワイヤーシステムは最大10tピッチまでとばすことが可能で、36%のコスト削減を達成できる。今後は土木や橋梁、プラントなど



ガイドワイヤーシステムを紹介する日綜産業ゴンドラ事業部門の武田光寿部長



スカイリフトminiを紹介する日綜産業PR部部長の福岡哲史部長

(大阪市住之江区)で開かれたメンテナンステック・レジリエンスOSA KA2020に出展し、展示会への出展は今年2回目になる。新型コロナウイルスの影響で展示会自体が中止となる中、今回のマンションビジネス総合展が今年最後の出展となる予定で、25日の来場を呼び掛けていた。

にも採用拡大を図る。日綜ゴンドラのスカイリフトminiは、アルミ製で軽量ながら高さ40m、積載能力は200kgを誇り、分速22mとスピーディーに資機材を荷揚げできる。足場内に積載物を取り込む際も、プラットフォームが90度旋回するため手軽に荷下ろしできる。18年に開発し、建築や土木など累計約100現場で採用されている。日綜産業は、今年7月にインテックス大阪